

# ほけんだより

令和4年度 2月号

寒い日が続くと窓を開けての換気を忘れがちですが、マスク・手洗いと同じくらい換気することは感染症を蔓延させない為の予防となります。気分転換もかねて1日数回窓を開けて換気することもこころがけていきましょう。

## ~~~12・1月の感染症情報~~~

12月：突発性発疹 ・・・・・・・・・・・・ 1名（ぺんぎん組）

　　インフルエンザ（A型） ・・・ 1名（らっこ組）

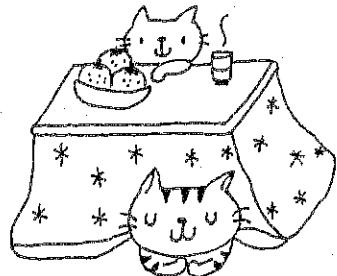
1月：アデノウィルス（はやり目） ・・・ 1名（ぺんぎん組）

　　インフルエンザ（A型） ・・・ 65名

（あかちゃん組 8名　（小）ぺんぎん組 10名）

（大）ぺんぎん組 11名　らっこ組 14名

いるか組 12名



くじら組 10名

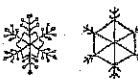


## 登所禁止措置(出席停止期間)とは？



「熱や主症状が消失しても数日お休みして下さい」とお願いしている感染症があります。保育所は免疫力が未熟な乳幼児から色々な感染症を経験した5～6歳児までが集団で長時間生活しています。その中で感染症が蔓延しないよう感染力が強い時期にお休みして頂くのが出席停止期間です。登所の目安は日数だけでは無く、子どもの表情・食欲もしっかり加味してください。また、感染症の中には症状が治まっても1カ月位は便にウイルスが排出される場合もあります。排便（オムツ交換）後の手洗いは忘れずにして下さい。

新型コロナウイルスに感染した場合は発症から7日以上かつ、（薬を飲まずに）症状が消失してから24時間以上経過（この期間が出席停止期間）していれば登園可能ですが、受診先の医師の指示に従ってください。



## 受診した時の情報を教えてください

- 病院を受診した場合、症状が落ち着いてからの登所でも「病院でこんな事言われました。」
- 「こんな診断名でした。」など、友達にうつす可能性が高い場合でも忘れずに保育者に伝えて下さい。また、保育所の登所時間は9:20までです。お休みする場合は9:20までに必ず連絡して下さい。



# ① インフルエンザのはなし \*○○○\* ○○○ \*○○○\*

空気が乾燥していると様々な感染症が流行します。インフルエンザは潜伏期間が短く感染力が強い病気です。保育所は免疫力の未熟な乳幼児も生活しています。インフルエンザを発症したら、しっかりと療養して元気が戻ってから登所してください。

抗インフルエンザ薬の効果で熱がすぐに下がってもウイルスの感染力はしばらくの間残っています。また、インフルエンザは一旦熱が下がっても、再び発熱する場合があります。

札幌市乳幼児園医協議会によると、インフルエンザの登所の目安は  
発熱した日を発症初日（〇日）と数え

## 「発症後5日間を経過し

### かつ、解熱した後3日間を経過するまで」と

なっています。出席停止の感染症ですので診断されたら保育所にお知らせ下さい。また自宅療養中、薬(解熱剤)を内服しなくても平熱で過ごせるようになった日・登所予定日も電話連絡下さるようお願い致します。

送迎する保護者や園児の兄妹など感染した方は園舎に入れません。インターフォンを利用するなどの対応を致しますのでご協力を願いいたします。また、学級閉鎖などで学校が休みの兄姉も（発症していない）極力、園舎に入らないようご協力をお願い致します。

1日にうちに発熱・解熱状態のどちらも認めた場合は発熱期間です。本当の解熱とは37.5°C以下（解熱剤を使用しない状態）が24時間以上経過した場合です。

## 検査のタイミング



発症してから12時間未満の検査では、本当は罹患しているのに陰性（偽陰性）で出てしまう場合が多いです。検査や来院回数が1回で済むように発症してから12時間（できれば24時間）経過してから検査、受診しましょう。但し、元気が無い・おしつこが出ない・苦しそう等の症状がありましたら、すぐに受診してください。

## 抗インフルエンザ薬 ②

インフルエンザになると抗インフルエンザ薬を処方されることが多いと思います。基本的に抗インフルエンザ薬はウイルスを倒す薬ではなく、ウイルスの増殖を抑える薬です。その為、ウイルスが増えきる前に使用する必要があり、発症してから48時間以内の使用が推奨されています。効果は発熱期間を1日程度短くなる・重症化を予防することが挙げられます。インフルエンザは基本的に自然に治る病気である為抗インフルエンザ薬は必須ではありません。

